

浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

「月参りについて思うこと」

慈光照護のもと、門信徒の皆さまにはますますご清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存じあげます。

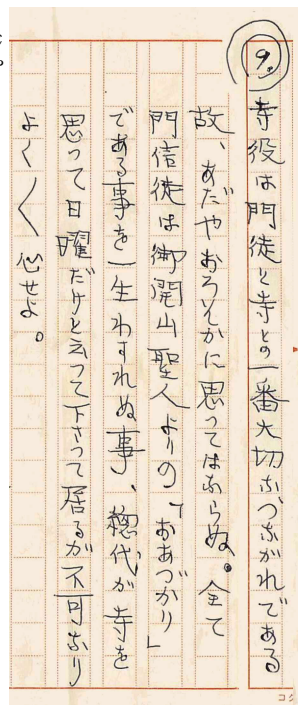
三国のご門徒さまや近隣の市町村でも、ご希望のあるご門徒さまのお宅へ月命日（例えば十月十日がご命日なら毎月十日）にお参りする『月参り』をさせていただいております。この月参りは地方によってもお寺によってもご門徒さまによっても違ってまいります。三国町のご門徒さま（昨年度護持会費をお納めいただいた）47軒のうち、月参りをさせていただいているのは35軒です。三国町以外で月参りをしているのは現在1軒です。そのうち月に2回お参りしているお家は4軒、月に3回というお家も2軒あります。みなさまご参考になさっていただければと思います。昔は五十回忌が終わるまではすべての月命日にお参りしていました。ですから月に5回お参りしていたお家もあつたことを覚えております。

月参りは、寺とご門徒さまとの関係をよく

報恩講にお参りください。10月

16日（火）昼二時・夜七時
17日（水）朝十時

り深くすることにたいへん大切な法要だと思えます。先日前任職の荷物を整理していたら、前任職（私の祖父）が亡くなる前年に前任職に宛てた手紙が出てきました。その一部を載せたいと思います。



「寺役（月参りなど日頃の寺の法務）はご門徒と寺との一番大切なつながりである。決しておろそかに思ってはならぬ。すべて門信徒のみなさまは御開山親鸞聖人よりおあずかりしているということを一生忘れないこと。総代さんが寺のことを思つて「月参りは日曜だけで良い」と言つてくださっているがそれではダメだ。よくよく心せよ」と厳しい言葉で書かれています。

私自身もその認識に変わりはありません。しかし、ときどき思うのです。月参りが亡くなった方のためのお参りになつてしまつていないかと。確かにご命日にお参りするのですが、決してそう

ではありません。宗祖親鸞聖人も「親鸞は父母の孝養のためとて、一辺にても念仏もしたること、いまだそうらわず。そのゆえは、一切の有情は、みなもつて世々生々の父母兄弟なり。いずれもいずれも、この順次生に仏になりて、たすけそうろうべきなり」（親鸞は父母の追善供養のためのお念仏は、今まで一度もしたことがありません。その理由は、一切の生きとし生けるものは、巡り巡つてすべてこの世では父母や兄弟であるからです。誰も誰もが現在の生が終つて次に浄土の生を受け、仏になつてから一切の衆生を残すことなく救済すべきなのです。）と言われています。私は月参りをさせていただいても、お勤めの後には世間話で終わつてしまいますが、本来は門信徒のみなさまと共に阿弥陀如来の『必ず救う』とお誓いくださったご本願を喜ばせていただき、報恩感謝のお念仏をさせていただきます。肝要なことです。

みなさまは浄土真宗本願寺派（お西）の『教義』をご存知でしょうか。なんだか昔から坊主がお参りに来てるからそのまま続けていくだけでよくわからないという方も

多いのではないかと思えます。浄土真宗の教章（私の歩む道）には教義として次のように書かれています。

阿弥陀如来の本願力によって信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて仏となり、迷いの世に還って人々を教化する。

この私が阿弥陀さまのみ教えに出会い、今生のいのちを終えたときには阿弥陀さまの浄土に往生生まれ、ただのんびりするのではなくこの娑婆に戻って迷える人々を救うという働きをするというのです。こんなはずじゃなかった！という方もいらつしやるのではないのでしょうか😊。

難しいものですね。私もこれからも月参りのご縁をおろそかにせず、精一杯勤めさせていただきますし、門信徒のみなさまも、月参りに来てもらっているからもう十分……とはお思いにならずに、どうか寺の法要にもお運びいただきたいと切に願っております。浄土真宗で最も大切な法要である『報恩講』も迫って参りました。ご門徒さまのお参りがなければ寺で法要をする意味がありません。本号ではご案内もさせていただいておりますし、ご門徒さまのお宅での

報恩講のご案内も同封させていただいております。どうかよろしくお願いいたします。また、月参りについてはあまりこれまでの形式にこだわらなくお考えいただければ良いのではないかと思います。中止にしても恐縮なさらなくても結構ですし、新たにお参りしてくれということでしたらある程度遠くても参ります。

「報恩講が厳修されます」

日	10時〜	14時〜	19時〜
16日 (火)		大逮夜 報恩講作法 法話二席	初夜 初夜礼讃 御伝鈔拝読 法話一席
17日 (水)	ご満座 阿弥陀経作法 法話一席		

福井市教應寺住職

ご法話 本願寺布教使

奥田 順誓師です。

今年も昨年に続き、夜のお座は初夜礼讃をお勤めさせていただきます。みなさまお誘い合わせお参りください。

「領収書出します」

先日、インターネットの匿名掲示板を見ていたら、お寺のことについていろいろ書かれていました。大半が批判的な書き込みで悲しくなりました。確かに、ちよつとどうかと思われるお寺も多い昨今です。みなさまから信頼していただける

お寺にしていかなければならないと痛感しております。その書き込みの中に、『領収書も出さない』というものがありました。西光寺ではご門徒さまにお願いしている『護持会費』には領収書を出しておりますがお布施では出しておりません。お布施はすべて寺の会計に入れて、私は寺から『月給』をいただいております。しかし、必要であれば領収書を発行することはいたしますので、ご遠慮なくおっしゃってください。

「再来年のことですが……」

来年の私の誕生日🥳をもつて平成も終わりますが、さらに次の年、東京オリピックの年ですが、〇〇2年の5月23日(土)に前任職の七回忌と前々住職の五十回忌を勤めさせていただこうと思っております。すでに今春の役員会ではお話しさせていただきました。私が住職でいる間では一番大きな年忌法要になるかと思えます。どうぞみなさまご予定ください。良いアイデアも募集中です。あと、御正忌の日程も決まっております。12月16日(日)です。詳細はまた次号で！みなさま報恩講でお会いしましょう！

住職携帯 090-18667-7902

メール soichio4989@gmail.com

ブログ 西光寺で最高時！